

施 策 の 評 価

施策の柱 柱⑨ 将来を見据えた教育風土づくり

1. 個別事業の目標達成状況

個別事業No・名称	担当課	目標達成度	検討項目
52 産業振興食育推進事業費	スポーツ健康教育課	B	
53 ふるさと教育推進事業	生涯学習課	B	
54 社会教育研修指導費	生涯学習課	B	
55 全国生涯学習フェスティバル推進事業	全国生涯学習フォーラム推進課	B	

2. 施策の評価

総合評価	施策の主な目標	目標達成度	判断理由
B	① 子どもたちの郷土への誇りや愛情を育てるために、高知県の強みや特色を理解させる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 食育・食農教育等体験学習により、一次産業の役割や感謝の心を学ぶなど、一次産業に関心を持つ子どもの育成につながった。また、関係者間で、地場産物を学校給食に取り入れるための課題の共有と情報交換を行うことができた。(事業52) ◆ 事業に参加した子どもたちは、①郷土の偉人である坂本龍馬に対する理解の深まり、②新たな人との出会いを通じて思いやりの心の醸成、③地域の伝統文化の継承者としての認識を高めることができた。(事業53)
	② 県民すべてが教育について関心を持ち、教育について考えるとともに、生涯にわたって学び続ける環境づくりを推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 社会教育を推進するためには、市町村社会教育関係者の企画力・コーディネート力が必要である。そのためのスキルアップ研修会を開催し、市町村からは9割を超える参加があった。また、研修の内容についても約8割の満足度が得られた。(事業54) ◆ 全国生涯学習フォーラム高知大会の開催に向けて、実行委員会を立ち上げ、実施計画を作成した。大会自体の認知度が低いため、今後、県民への周知に力を入れる必要がある。(事業55)

3. 今後の方向性

◆ 高知県の強みや特色を活かした施策について

- ① 食育の推進、安全安心な学校給食の普及充実を図っていくために、地場産物の活用の促進や安定供給体制の構築を進めていく。併せて、地場産物を活用した学校給食用のレシピを作成し、平成23年度に開催予定の全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会の場で全国へ情報発信する。平成22年度以降、心を耕す教育として位置づけられる方針である。
- ② 県内小学校高学年すべての児童が、郷土の偉人である坂本龍馬の功績について理解を深めるために、次年度は「小学生用龍馬検定」を作成、実施することにより自主的な歴史学習のきっかけとする。また、事業を通じて、子どもたちが地域の歴史理解や人々との交流体験ができるよう、助成団体に働きかける。

◆ 教育的風土づくりについて

平成22年11月の全国生涯学習フォーラム高知大会開催により、県民の生涯学習に対する意識を高めるとともに、市町村社会教育関係者に自らの役割を意識させ、社会教育の推進をめざす。

4. 関連事業

個別事業No・名称	担当課	目標達成度	検討項目
56 高知城保存整備事業費	文化財課	B	オ